

2019/10/7
東海第二原発差し止め訴訟 資料

中越沖地震による地震被害

**東京電力公表写真と
社民党国会議員による調査団の撮影写真から**

作成 原告代理人弁護士 海渡 雄一

どんな地震だったのか？

中越沖地震発生

- ・ 2007年7月16日午前10時13分
- ・ 新潟県上中越沖（新潟の南西、約60 km）
- ・ 震源の深さ 17 km
- ・ マグニチュード6.8
- ・ 柏崎刈羽原発まで震央距離 16 km
震源距離 23 km

もっと大きな地震もあり得た

- この地震はM 6. 8の中規模地震で、想定を遙かに上回る地震動が発生した。
- この地震はこの地域で想定できる最大の地震ではない。
- 国のいう「安全に停止した」論は、偶然の幸運にすぎず、より大きな地震が起こった可能性を考えれば犯罪的である。

3号機の燃料貯蔵プール

東京電力提供



**東京電力が撮影し、HPに公表した写真
などに見る柏崎刈羽原発の被災の実情**

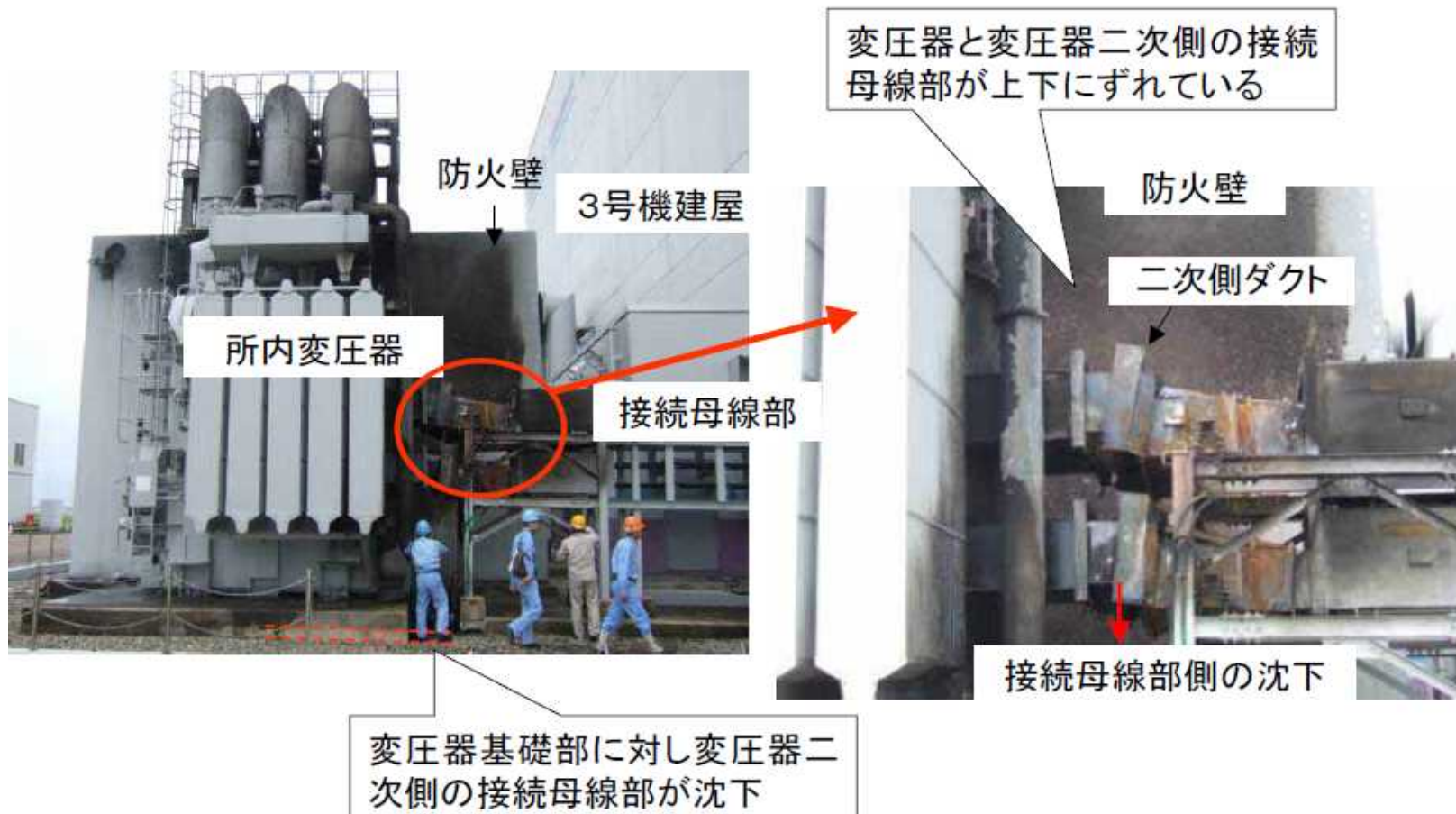
3号機 変圧器で発生した火災



この写真は報道写真

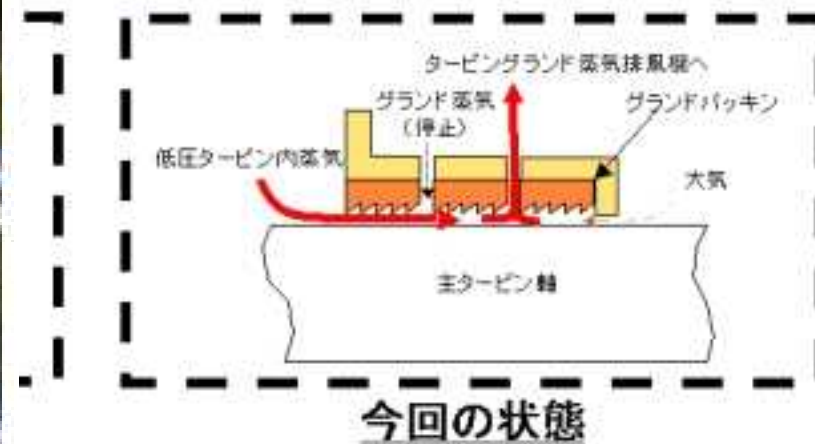


不等沈下が火災発生の原因

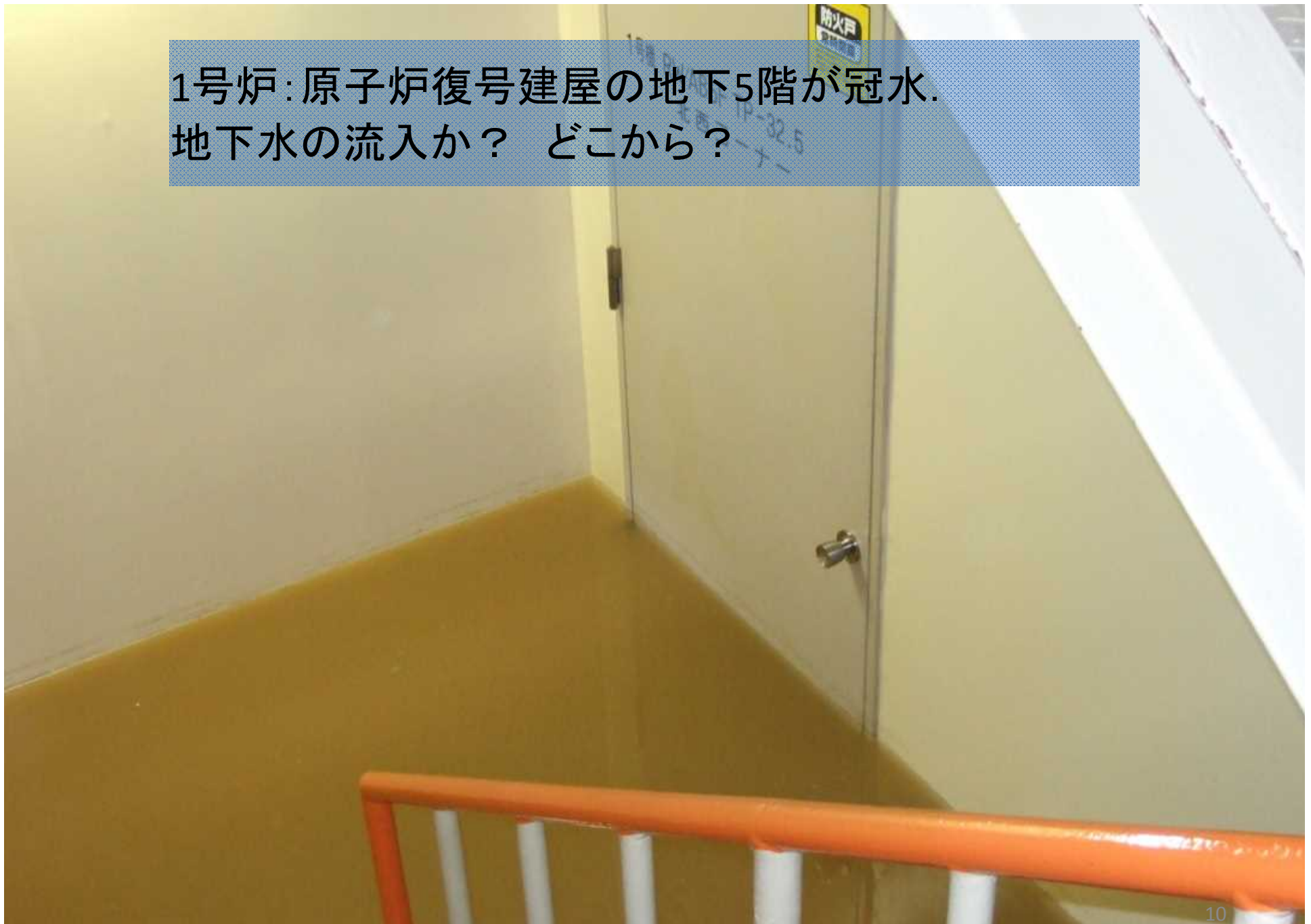


7号機 主排気塔から放射性ヨウ素等が放出

排風機からフィルタを介さずに排気塔へ
住民に知らされたのは後になってから



1号炉:原子炉復号建屋の地下5階が冠水.
地下水の流入か? どこから?



1号炉:タービン複合建屋



1号炉:タービン複合建屋 水没前



1号炉:タービン複合建屋

1号炉:タービン複合建屋 どこからこれだけの砂が建屋内に流入したのか



1号炉:タービン複合建屋



■ 3号機ブローアウトパネルの開放

地震により原子炉建屋ブローアウトパネルがはずれたものと推定



■ 1号機消火系配管破損（1号機原子炉建屋山側）

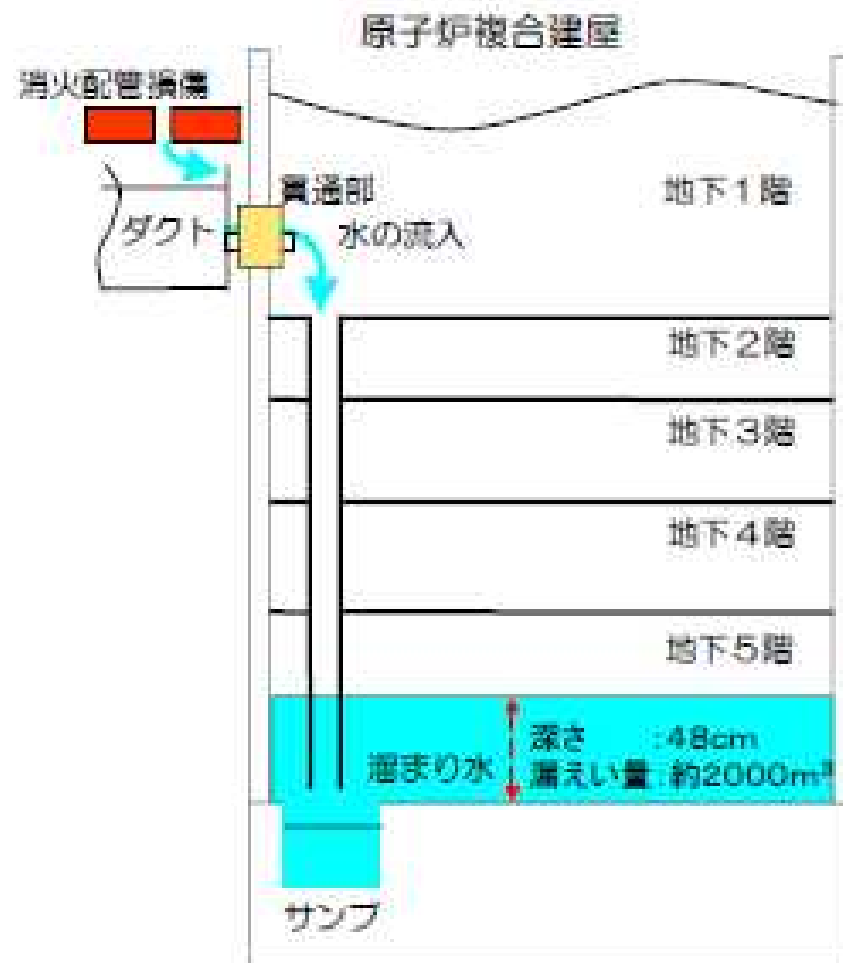


破損状況



復旧状況

屋外（土中）の消火配管が破損し、原子炉複合建屋の貫通部より消火水が流入したものと推定。

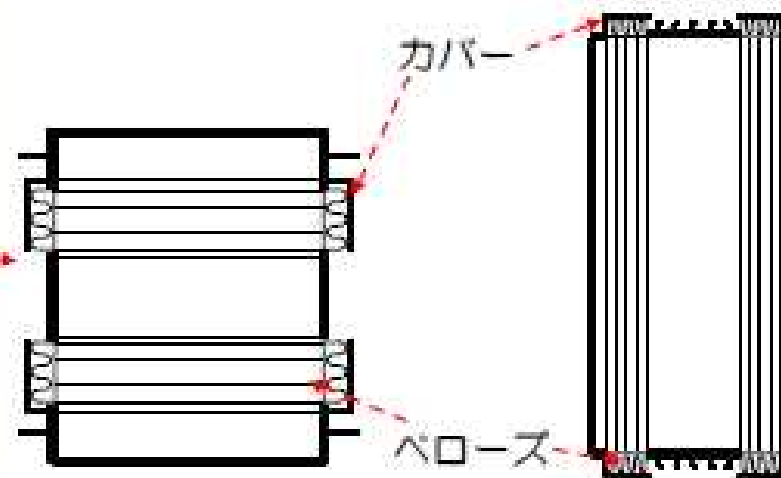


1号機 排気ダクトのズレ

K1 排気ダクト外観



ダクト ペローズ 主排気筒



ダクトのズレ

■ 1号機軽油タンク周辺地盤沈下



軽油タンク全景

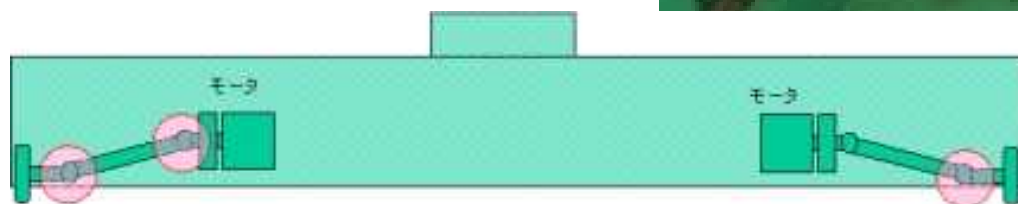


軽油タンク周辺地盤の沈下

固体廃棄物貯蔵庫内のドラム缶が転倒



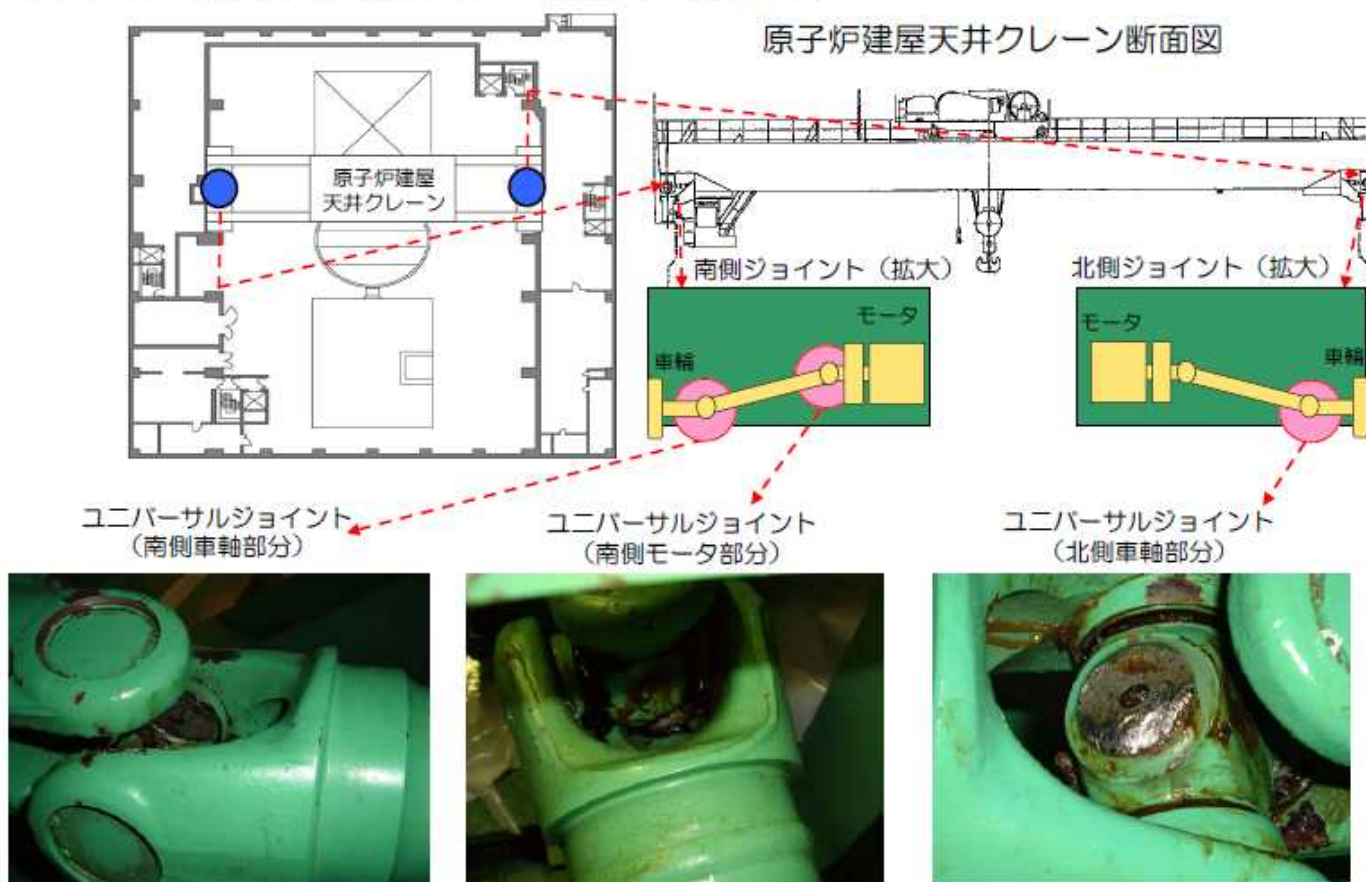
6号機 原子炉建屋天井クレーンの破損



● 破損箇所

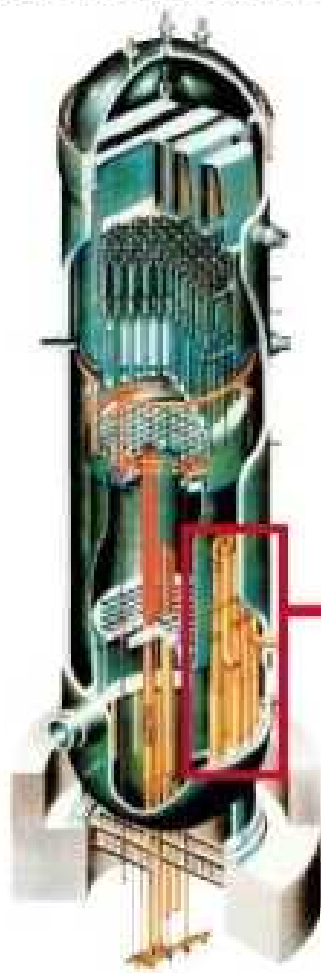
燃料クレーンが大破壊

KK-6 原子炉建屋天井クレーン（原子炉建屋4階）

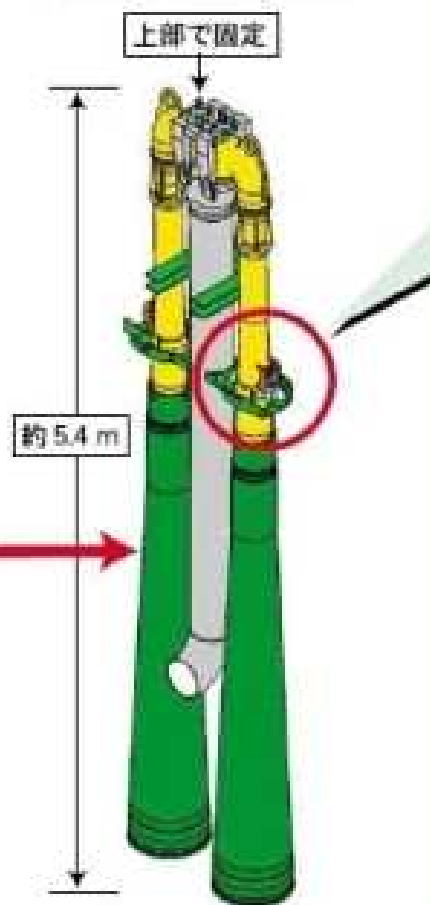


5号機 ジェットポンプで金具のズレ

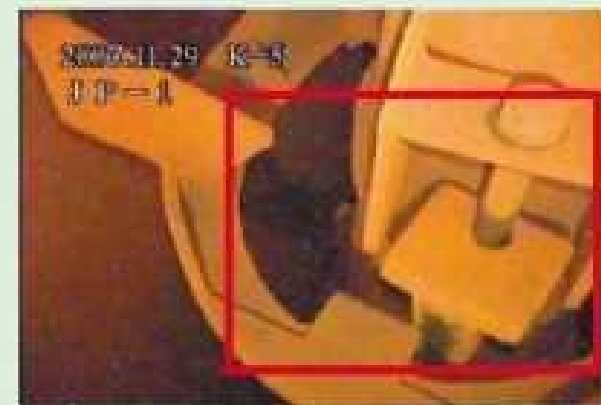
<原子炉压力容器断面図>



<ジェットポンプ図>

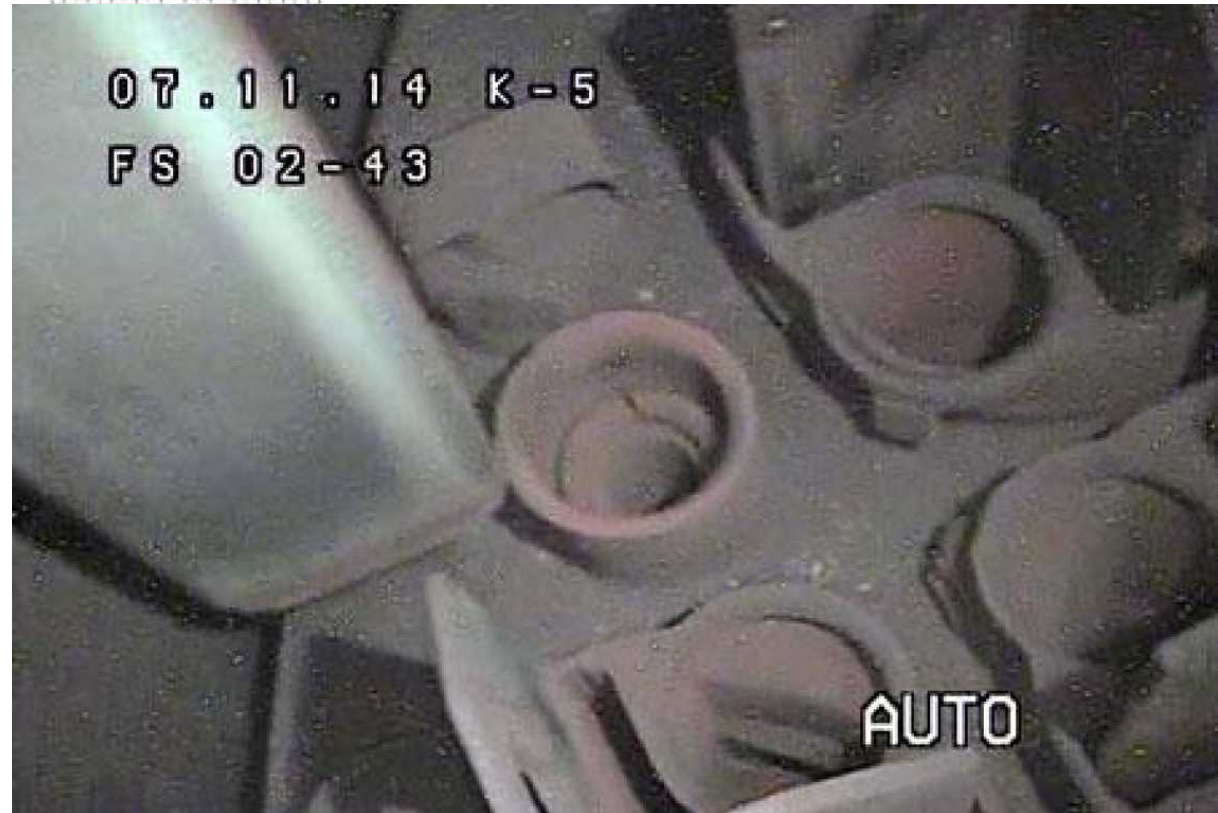
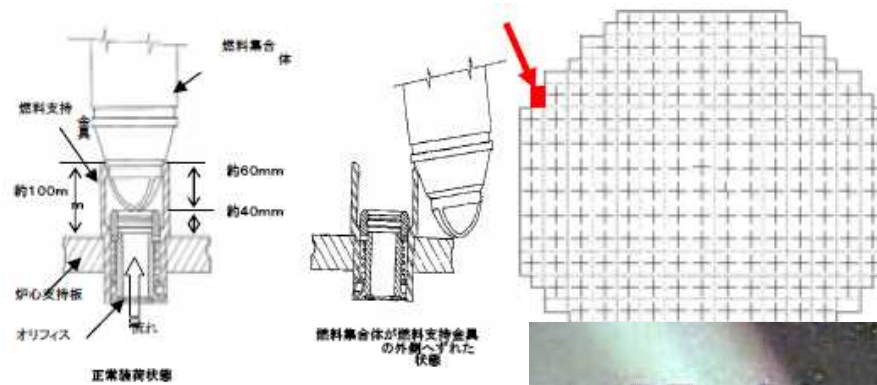


正常な状態



今回発見した金具のズレ

5号機 原子炉内燃料下部 支持金具から外れた

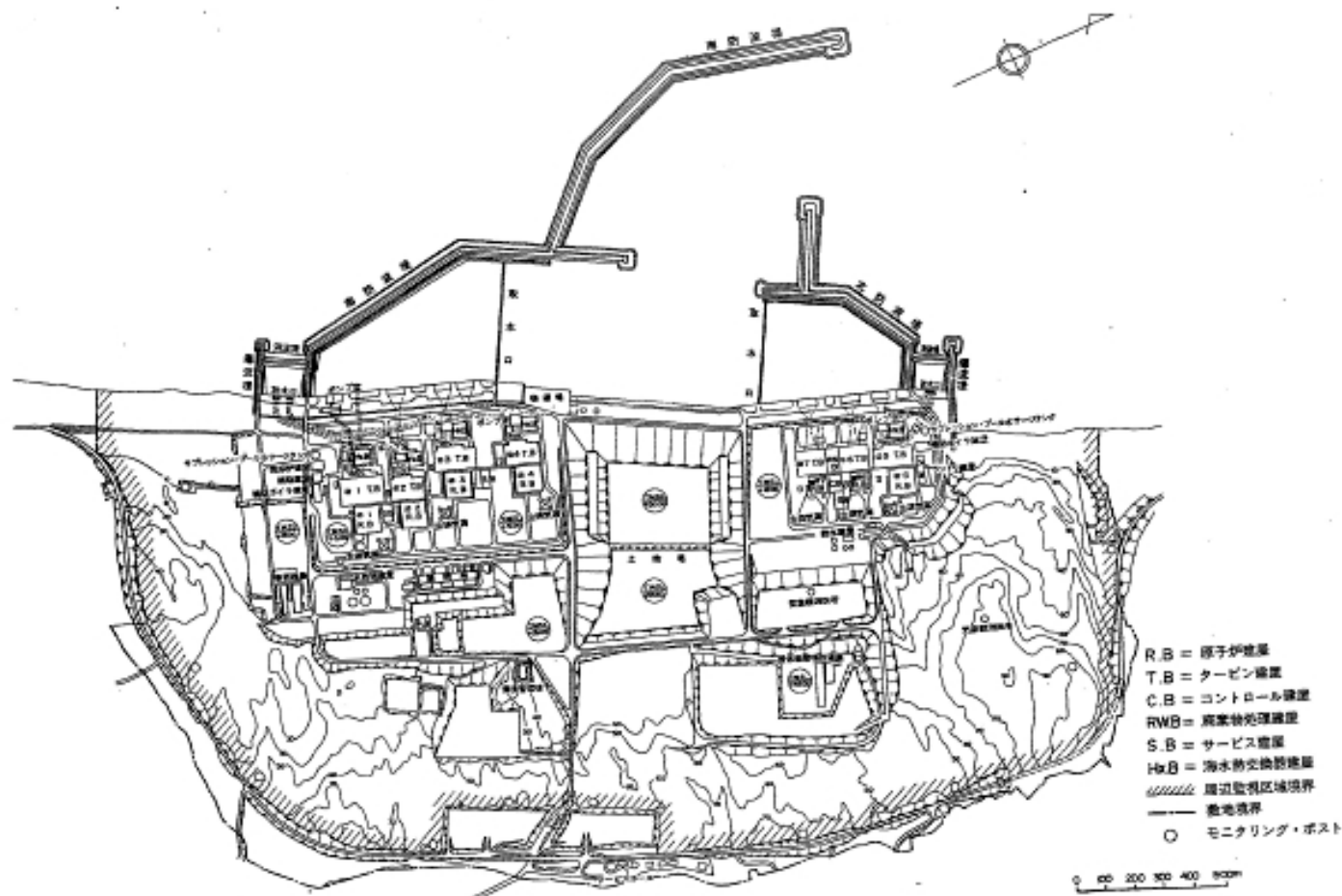


確認できた敷地内、建屋内の異変

32シートは毎日新聞、33シートは国土地理院撮影。

35シート以降の調査は2007年7月22日と27日に二度にわたり行われた社民党国会議員による調査の際に随行した弁護士海渡雄一が撮影したもの

柏崎・刈羽原発配置図



第2図 発電所一般配置図

参加国会議員 阿部知子・保坂展人・近藤正道



2007年7月18日国土地理院撮影



施設を取り巻くビニールシート

毎日新聞ヘリから内林克行撮影

2007年7月18日午前9時39分



1-4号機側

原発敷地内でうねる地盤





原発敷地内で生じた地割れ

原発敷地内でゆがんだクレーンのレール



2号機原子炉建屋の基礎と周辺地盤



変位量は約 80 センチ



2号機と3号機を結ぶ構造物が浮き上がっているように見える。





- **3号機の変圧器火災**
- **油漏れは継続**

変位から破損した 3 号機変圧器



- 建屋と変圧器とが別々に変位している
- 変位差は約 25 センチ

変圧器の変位による歪み



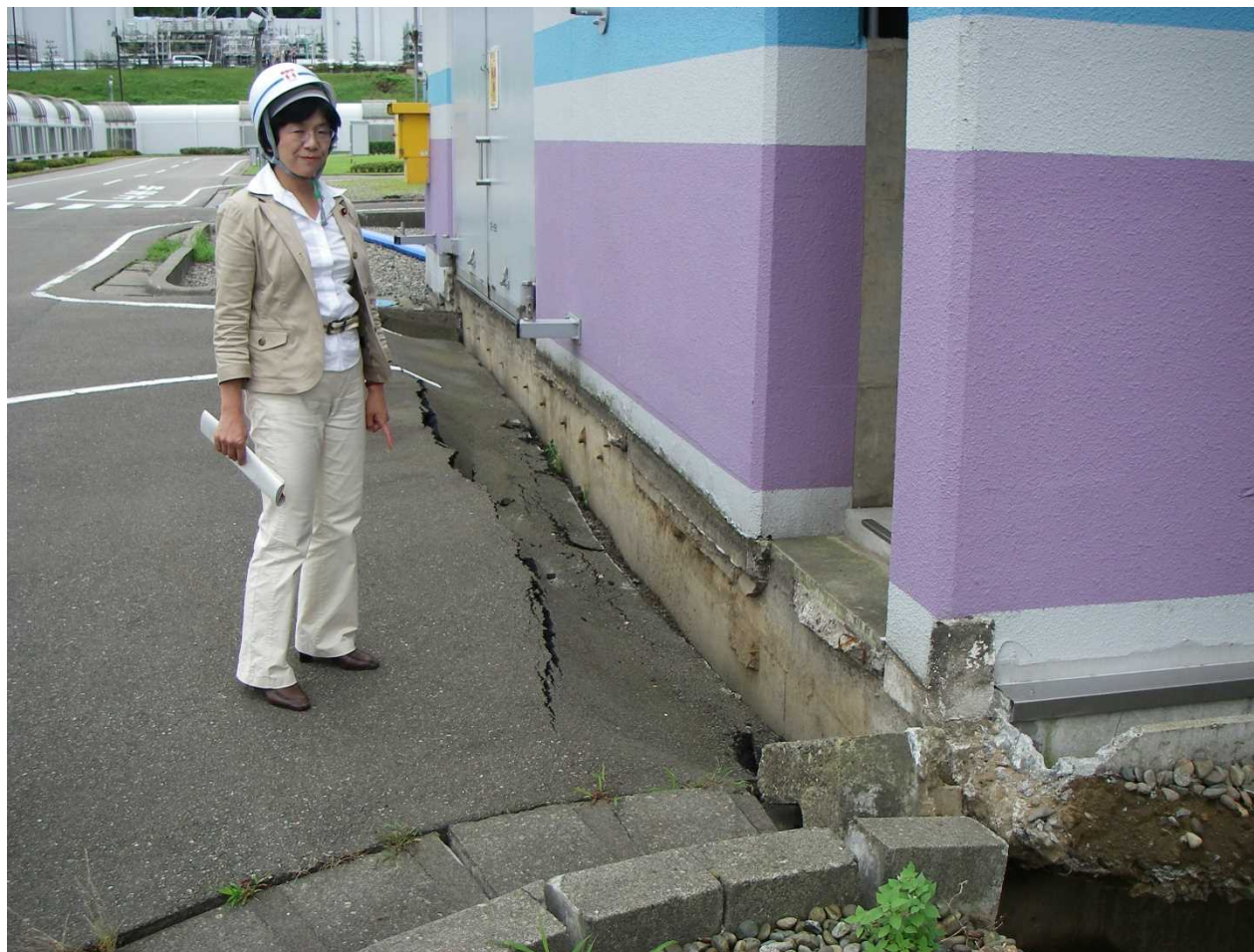
軽油タンク消火管の補修痕



2号機のタービン建屋周辺 大規模に陥没している



2号機タービン建屋周辺



既に補修済みの化学消火系統



主排気筒へのダクトの歪み



5-7号機側

6, 7号機タービン建屋階段の コンクリート亀裂



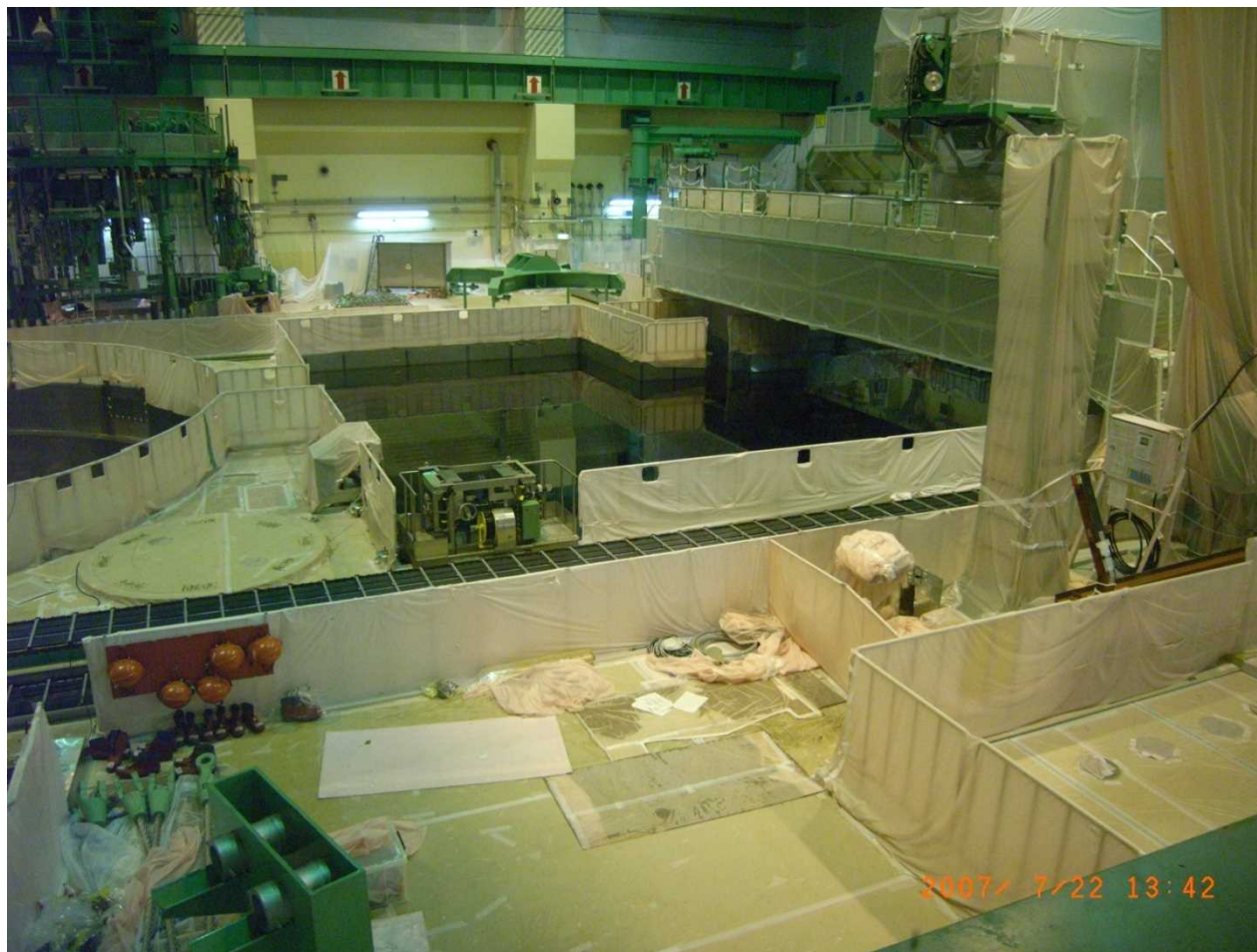
タービン建屋ギャラリー 入り口ドアの歪み



ギャラリーから見た 6 号機タービン



6号機使用済み燃料プール



6号機の原子炉水の漏えい

放射性物質が海水中に放出された



東電の設置した監視カメラ映像
からキャプチャ

燃料プール周辺の床が濡れている



6号機原子炉建屋原子炉上部と 破損していたクレーン



6, 7号機中央操作室



6, 7号機前の濾過水タンク 水漏れが発生している



ボルトが飛び、 タンク下部がふくらんでいる



**下から大きな力で
衝撃上げられたようである**



6号機と破損した濾過水タンクの間 にある街灯が倒れている



6号機前の道路に 大きな直線的な陥没を埋めた痕



海側一面のブルーシート



一面のブルーシートと アスファルト、こわれた縁石の山



すごい量のアスファルトの山



倒れている街灯

東京電力は傾いたので倒したと説明



地盤の陥没の痕



真新しい消火管と消火器 東京電力は補修はしていないと説明？



汚水処理用の配管の補修工事中



クールウォーターパイプの工事 東京電力は地震との関係は否定した



何故か大型クレーン作業中 何を補修しているのか？



すごい力が縁石にかかった！



残されていた道路面の亀裂 撤去し忘れ？



縁石が破壊されている

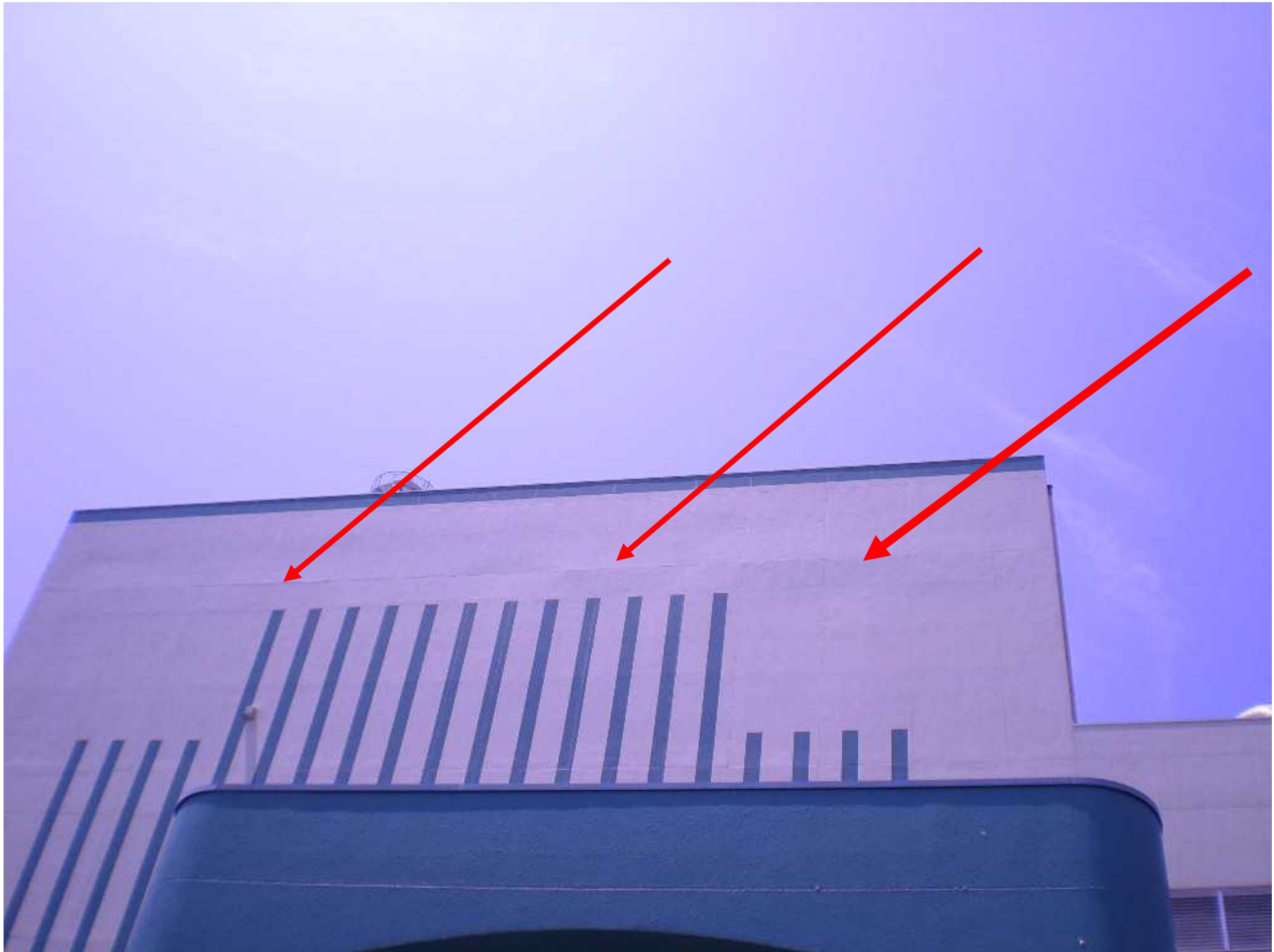


6, 7号機敷地内にも 大規模な陥没の痕



6号機原子炉建屋 の壁に凹凸が発生している





破損した濾過水タンクと倒れた街灯



6, 7号機山側の斜面にも ブルーシートが掛けられていた



斜面の地滑り痕



通行止めとなっていた



中越沖地震こそが 福島で起きたことの序曲であった

- **地震の結果、柏崎・刈羽原発は約 3 0 0 0 箇所**で故障が生じた。
- **柏崎・刈羽原発では基準地震動が 2 2 8 0 ガル**に引き上げられた。
- **中越沖地震こそが福島で起きたことの序曲であり、これに的確に対応していれば、福島の悲劇を未然に防ぐことができた可能性がある。**